



うずしお

7月

「やったからできた！」の夏休み

右は、「うずしお4月号」に寄せた文章です。(大島中HPにも掲載)

先日新聞社による取材の場で、生徒そして先生から「家族」「ファミリー」という言葉が発せられました。

大島中学校はこれまでもまとまりのある良い学校でした。令和8年度になってもその勢いは日々増していると感じています。

「大島中は家族」言葉の響きに一瞬で心を奪われて大々的に宣言しましたが、当時の正直な心情を白状すれば、それを証明するための根拠を明確に示すことは難しいと思いました。ですが今は、数字などではなく大島中生徒そして先生がそう思えたならば正解として問題ないと考えます。まだ1年の1/4を終えた段階であり、あくまでも私の肌感覚ではありますが、着実に家族になりつつあるという手応えも感じています。

1学期、私は「62名の生徒全員の顔と名前を覚えよう、名前を呼びながら会話できるようになろう」と心の中で密かに決意しました。「有言実行」として掲げられなかったのは、やや自信が持てなかったからです。それでも実現するために、こちらから生徒に近付かなければならないと考え、学校行事や授業、部活動の場に”ずかずか”と踏み込みました。「家族になる」ために私なりに考えた手段であり、それが実を結んだかどうか今はまだその答え合わせの途中です。

「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人のなさねなりけり」

これは17歳で藩主となった上杉治憲(鷹山(ようざん))の言葉です。最盛期は120万石の米沢藩も鷹山が藩主となった頃にはわずか15万石。借金はこの貨幣価値で約200億円。彼は大倅約令を出し、自ら質素・倅約に努めました。また武士も協働して新田開発を行い、女子を活用して織物業を発達させ、更に学問が国を治める根幹と考えて学校を創設し、家臣の子弟から20人を選び無料で学ばせました。(米沢市HP、米沢観光ナビ)

上杉鷹山こそまさに有言実行の第一人者です。私はこれまでの教員生活で、彼の言葉をクラスや部活動の生徒に度々伝えてきました。愛媛県のとある高校の校歌に使われてもいる「やればできる」という、似たような意味を持つ言葉もあります。私はもう一歩先の「やったからできた」を目指そうと伝えることにしています。

さあ、長い夏休みです。時間はたっぷりあります。今年の夏休み、何を成し(実現させ)ますか？そのために何をしますか？「成ったときは、なしたから、成らなかったときはなさなかったから」ただそれだけのこと。家族みんな充実した夏休みと成ることを願っています。

大島中学校長

生徒総会

7月6日の1・2校時に生徒総会を行いました。各学年および各委員会から様々な要望や提案が出され、活発な話し合いと採決が行われました。今回話し合った内容については、可能なことから速やかに実現に向けて取り組んでまいります。



地域を知る活動(1年) ～海賊ミュージアム、櫓漕ぎ体験、潮流体験等～

7月8日、1年生が地域(宮窪町)への理解を深める活動を行いました。好天の中、村上海賊ミュージアムの見学、櫓漕ぎ・潮流体験、能島への上陸など、充実した体験をすることができました。地域の自然や歴史に直接触れる活動は、郷土愛を深め、地域社会の一員として自分にできることを考える大切な一歩となりました。温かく支えてくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。



ジョブチャレU-15(職場体験学習)(2年)

7月7日～9日、2年生が職場体験学習を行いました。地域の事業所の皆様のご協力により、製造業や接客業など様々な体験をすることができました。また、巡視等にご協力いただいた学校運営協議会委員の皆様にも厚く御礼申し上げます。生徒たちは意欲的・主体的に活動し、この3日間で大きく成長した姿を見せてくれました。温かく受け入れてくださった事業所の皆様、本当にありがとうございました。

